

# 平成 25 年度 第 3 回 新河岸川流域川づくり連絡会 議事要旨

平成 25 年 11 月 14 日 (木) 朝霞市 産業文化センター 第二会議室

項目	内容
<b>I. 議事</b>	
1. 平成 25 年度第 2 回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨	第 9 回川でつながる発表会の協力団体について、“かわごえ少年・少女合唱団”を“ふじみの少年・少女合唱団”に修正すること。
2. 第 9 回川でつながる発表会について	第 9 回川でつながる発表会について連絡会メンバーによる意見交換が行われた。 <b>■主な意見</b> ○現地見学ルートについて ・提示した見学ルートが概ね承認された。 ○交流会企画について ・企画案(①パネル展示②総合治水・水循環に関する取り組みの掲示③総合治水・水循環に関する授業④クイズ⑤水循環に関する取り組みの自己評価)は概ね承認された。 ・総合治水・水循環授業企画について、授業の目的は近年の防災ではなく減災の観点を考慮した内容とすること。 ・パネル展示企画で活用予定である昔の写真の所在について、ふじみ野市にある博物館などへの問い合わせを検討すること。 ○発表会当日の協力について ・コメンテータの前半を「空堀川を考える会」が担当する。 ・コメンテータの後半を「不老川流域川づくり市民の会」が担当する。 ・受付補助を「かわごえ環境ネット」が担当する。
3. 里川 72 号について	・連載に掲載予定である台風 26 号の川越市の対応に関する表現に注意すること。
<b>II. 勉強会</b>	
埼玉県県土整備部水辺再生課より「川の再生の取組について」と題して、「水辺再生 100 プラン」及び「川のまるごと再生プロジェクト」に関する説明を頂いた。 <b>■主な意見等</b> ・川の国応援団(美化活動団体)の構成を教えてください。 →自治会、小学校、中学校、清掃活動をしているボランティア団体である。 ・川のまるごと再生プロジェクトの今後について、水量や流路など河道及び維持管理についても地域の人と協議して決めていくことが大切である。 →工事が実施された後に想定される問題についての議論は十分にできていないため、今後、議論していきたいと考えている。 ・川のまるごと再生プロジェクト実施にあたり、35 の河川を 17 の河川に絞った時の選定基準は公表されているか。 →川の再生の取り組みに関する市町村提案に対する個別の評価は公表されていないが、公開プレゼンテーション実施後の座長の講評は公表されている。 ・水辺再生 100 プラン及びまるごと再生プロジェクトにおいて市民と協議した行政の担当者がこの経験を活かして次にとる行動が重要であると考えている。両事業とも全国に例のない事業であり、はじめからすべてうまくいくとは思っていないので、引き続きがんばって頂きたい。	
<b>III. 情報交換</b>	
<b>◆川づくり連絡会メンバーからの情報提供</b> ・10 月 30 日 13 時から朝霞市リサイクルプラザで第 11 回新河岸川流域川づくり懇談会が開催される。 ・新河岸川水系水環境連絡会より、水質マップ作成に必要となる外来種写真の提供依頼があった。 <b>◆平成 25 年度第 4 回連絡会開催について</b> ・第 4 回新河岸川流域川づくり連絡会は 1 月下旬～2 月上旬を候補として、勉強会を依頼する機関と調整の上、開催日を決定する。 <div style="text-align: right;">以上</div>	

